

人文書（歴史／ヨーロッパ） ご担当者さま

東京外国語大学出版会 新刊案内

2021年
1月6日発売

“植民地事業、に伴う本来的な矛盾について考えるために。
初邦訳。

植民地の偉大さと隷従

アルベール・サロー【著】 小川了【訳】

四六判・上製・総ページ372頁・本体価格2700円（税別）



1931年、パリ郊外で開催された国際植民地博覧会にあわせて、第三共和政期フランスを代表する植民地理論家であったアルベール・サローが執筆・公刊した本書は、博覧会開催期間中、驚くべきスピードで版を重ねた。フランス植民地主義が隆盛を誇ったこの時期に、サローはどのような内省と葛藤を抱えながら、時代の思潮と対峙していたのか——。植民地経営という事業が内在的に包含せざるを得ない矛盾について、今一度考え直すための恰好の書。

【著者紹介】

アルベール・サロー（Albert Sarraut）

1872年7月、フランス、ボルドーにて生まれる。パリに進出後、急進社会党に属す。インドシナ植民地連邦総督を二度務め、植民地大臣、内務大臣、首相の要職を歴任した。第三共和政期フランスを代表する植民地理論家。1962年11月、パリにて没した。

【訳者紹介】

小川了（おがわ・りょう）

1944年生。東京外国語大学名誉教授。著書に『第一次大戦と西アフリカフランスに命を捧げた黒人部隊「セネガル歩兵」』（刀水書房、2015年）、その他。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX. 042-330-5199
			アルベール・サロー 著 小川了 訳 植民地の偉大さと隷従 四六判・上製・372頁
		冊	ISBN978-4-904575-84-0 C0022 ¥2700E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い